外国語活動学習指導案

指導者 T 1 外国語担当 高畑 律子 T 2 ALT Darryl Gibbs

1 日 時 令和元年7月12日(金) 第5校時

2 学 年 第6学年1組(35名)

3 単元名 This is ME! 自己紹介 (We can! 2 Unit 1)

4 単元について

○ 来年度より,第3・4学年「外国語活動(35 時間)」,第5・6学年「外国語科(70 時間)」が全面実施される。新学習指導要領によると,中学年から「聞くこと」,「話すこと【やり取り】」,「話すこと【発表】」を中心とした活動を通じて外国語に慣れ親しみ外国語学習への動機付けを高めるとともに,高学年から発達の段階に応じて段階的に文字を「読むこと」,「書くこと」を加え総合的・系統的に扱う教科学習を行い,中学校への接続を図ることとある。外国語教育では,小・中・高等学校で一貫した目標を実現するため,五領域で,「できるようになること」を示した英語の目標が設定された。「外国語を使って何ができるようになるか」,コミュニケーションを行う目的や場面,状況等を明確にし,児童生徒同士のインタラクションを大切にした言語活動を中心に授業を行う重要性を謳っている。

本単元で扱う「We Can! 2 Unit 1 This is me!」は、慣れ親しんだ表現を使い、他者意識をもって自己紹介をする単元である。挨拶、自己紹介は、他者と人間関係を築いていく上で大切なコミュニケーションの一つである。また、あらゆる場面で必ず行うものである。児童が将来、どこでだれと協働する際も、自信をもち言語及び非言語的要素(表情・ジェスチャー・反応等)を用いた自己表現で人間関係をつくっていこうとする、外国語による表現力の向上、主体的に学習する態度の育成及び的確に理解し適切に伝え合うコミュニケーション能力の育成の図れる単元であると考え設定した。

○ 本学級の児童は、昨年度より外国語活動を行っている。外国語活動についてのアンケートを 行ったところ肯定的回答をした児童は次記の通りであった。

1	小学校での英語の勉強は将来役に立つと思います。	97 %
2	外国語活動(英語)の授業以外で英語を使ってみたいと思います。	80 %
3	もっと英語を学びたいと思います。	94 %
4	外国語活動(英語)の授業に進んで参加しています。	97 %
5	外国語活動(英語)の授業では、英語を使う場面を考えながら活動しています。	91 %
6	外国語活動 (英語) の授業では、日本と外国のくらしや習慣、文化などのちがい を知ることができます。	97 %
7	相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば、どのイラストや写真のことを話しているか分かります。	89 %
8	相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば、だいたいの内容が分かります。	80 %
9	英語でやり取りをする時には、相手の言ったことにうなずいたり、英語で返事 したりしています。	80 %

10	英語でやり取りをする時には、会話が続くように、知っている表現を使うように しています。	77 %
11	英語でやり取りや発表をする時には、自分の考えや気持ちなどを伝えています。	74%
12	英語の文字(アルファベット)を読むことができます。	83 %
13	英語を読む時には、単語や表現の意味を考えながら読んでいます。	77 %
14	英語を書く時には、単語の間を空けるなど、英語の書き方のきまりを守って 書いています。	80 %
15	英語を書く時には、単語をならべる順番を考えながら書いています。	74 %

これらの結果より、児童は、「小学校での英語の勉強は将来役に立つ」(97%)、「もっと英語を学びたい」(94%)と思い、「外国語活動の授業に進んで参加している」(97%)ことが分かる。授業中には、「Me, too!」、「I see.」、「Really?」、「It's nice!」等の反応を示す言葉を使い、廊下で出会うと、「Hello!」、「How are you?」、「I 'm fine.」、「See you.」等と気軽に挨拶をする。休み時間には、English roomに遊びに来て、「What OO do you like?」、「Can you ~?」等と、既習表現を使い意欲的に話しかけてくる。習った英語を使いたい、英語で会話したいという気持ちが伝わってくる。しかし、「英語でやり取りをする時には、会話が続くように、知っている表現を使うようにしている」(77%)、「英語でやり取りや発表をする時には、自分の考えや気持ちなどを伝えている」(74%)であった。使える既習表現の語彙数が少ないことや会話のつなげ方に慣れていないため、1往復のやり取りで終わってしまうものと思われる。

昨年度,本学年の児童は、「We Can! 1 Unit 1 Hello, everyone. 自己紹介」単元において、オーストラリアから来校した高校生達と交流し、自己紹介のやり取りや、好きなもの・嫌いなものを伝え合う体験をしている。その際、"smile"、"eye contact"、"clear voice"、"gesture"等の非言語的要素の大切さを実感するとともに、もっと会話を続けたかった!という強い思いをもっている。

〇 そこで、本単元「We Can! 2 Unit 1 This is me!」では、「話すこと【やり取り】」の充実をめざして単元を構成する。本来、4月当初に、新しい学級での仲間意識を高めるため、5年生までに学習してきた基本的な表現を使い自己紹介を行う単元である。児童には、「I like ~.」、「I can ~.」、「I'm good at ~.」、「My birthday is ~.」等の既習表現の復習の機会ともなる単元である。しかし、今年度は移行期間であることから、1学期の「Hi, friends! 2」の学習後、2学期に行うことになっている。

そこで、本単元のゴールとしてプレゼンテーション形式の自己紹介ではなく、クラスの友達やALTと1対1の対話形式で行う。お互いの記憶に残るような印象的な自己紹介をし合う中で、反応や質問をして対話を続け、もっと知り合う場となることを期待する。第1時及び第2時では、既習表現を復習する。その際、教師対児童の Small Talk を行い対話の見本を示していく。第3時は、ワークシートを使い、自分についてどのようなことを伝えると対話がはずむのか、どのような伝え方をすると他者意識をもった対話となるのか自己表現の仕方について考える。本時では、友達の自己紹介を他者意識をもち反応しながら聞くことや、お互いをもっと知り合うために、「Do you like~?」、「What OO do you like?」、「Can you ~?」、「When is your birthday?」等と質問をし、対話を続けるよさを味わえるようにする。

5 単元目標

- 【コ】自己紹介をもとに、対話を続けようとする。
- 【慣】自己紹介に関する表現や好きなことやできること,誕生日を尋ねたり答えたりする表現に 慣れ親しむ。
- 【気】ジェスチャーや表情の大切さ、他者に配慮しながら反応する大切さに気付く。

新学習指導要領の観点

○ 自己紹介に関する表現や好きなこと、できることなどを聞いたり言ったりすることができる。 【知識及び技能】

○ 自己紹介で自分の好きなことやできることなどについて伝え合う。

【思考力, 判断力, 表現力等】

○ 他者に配慮しながら、好きなことやできることなどについて伝え合おうとする。

【学びに向かう力、人間性等】

5つの領域別目標

- ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について,簡単な語句や基本的な表現 を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして,伝え合うことができるようにする。

【話すこと(やり取り)】

6 単元の評価規準

コミュニケーションへの	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する
関心・意欲・態度		気付き
自己紹介をもとに,	自己紹介に関する表現や好きなことや	ジェスチャーや表情の大切
対話を続けようとして	できること、誕生日を尋ねたり答えたりす	さ,他者に配慮しながら反応
いる。	る表現に慣れ親しんでいる。	する大切さに気付いている。

7 単元ゴール

コミュニケーションの	① 友達や ALT の記憶に残るような印象的な自己紹介をする。	
目的•場面•状況	② 友達の自己紹介を反応しながら聞き、質問をしてやり取りを続ける。	
目指す発話例	Hello, my name is (Ritsuko). My nickname is (Rily).	
	I'm from (Miyajimaguchi). How are you? I'm fine. Me, too!	
	I like (soccer). What sports do you like? (You like \sim .)	
	I can (play soccer well). Can you \sim ? (Really? I see.)	
	I am good at (running).	
	My birthday is (April 3 rd). I like spring.	
	See you.	

8 言語材料(下線は新出表現,語彙)

主な表現	主な語彙	
<u>I'm from (Shizuoka).</u> I like (soccer). I can (play	from, nickname, running, speak,	
soccer well). I am good at (running). My birthday is	subject, bird	
(August 19 th). <u>My nickname is (Ken).</u> What [colors	[既出] 挨拶・自己紹介,色,動物,	
/subjects/fruits/sports/animals] do you like? What is	果物・野菜、飲食物、スポーツ、教科、	
your favorite [color/subject/fruit/sport/animal] ? When	月,序数,favorite	
is your birthday?		

9 単元計画

	+/u1 =	
時	目標(◆),主なやり取り等,・誌面化されている活動	評価規準・評価方法
1	◆ 世界の子供たちの自己紹介を聞いて、自己紹介で使う表現を想起す	【コ】行動観察
	る。また,自己紹介に関する新しい表現にも慣れる。	【慣】行動観察
	Let's Watch and Think	【気】行動観察・
	OTarget Language	リフレクション
	Hello, my name is Ritsuko. My nickname is Rily.	カード
	I'm from Miyajimaguchi.	
	◎単元ゴールの活動を知る。(友達や ALT と記憶に残るような印象的な	
	自己紹介を対話形式で行う。)	
2	◆ 自己紹介に向けて、好きなものやできること、誕生日等を聞いたり	【コ】行動観察
	言ったりする。(既習表現の復習)	【慣】行動観察
	★Small Talk(ALT と先生の自己紹介について)	【気】行動観察・
	Hello, what season do you like?	リフレクション
	I like spring. I see, why?	カード
	My birthday is April 3 rd and I like flowers.	
	Oh, it's nice. You like flowers.	
	When is your birthday?	
	• Let's Listen 1	
	• Let's play 1,2,3,4	
3	◆ 記憶に残るような印象的な自己紹介とするために、自分の何をどう	【コ】行動観察・
	伝えようか考える。(ワークシートに記入)	ワークシート
	• Let's Listen 3	【慣】行動観察
	• Let's Talk	【気】行動観察・
	Hello, how are you? I'm great. Me, too.	リフレクション
	My nickname is \sim . Really? Why?	カード
	Hike/don't like \sim . What OO do you like? Hike \sim . I see.	
	Can you \sim ? Yes, I can. Oh, you can \sim .	
	Nice talking to you. Thank you. See you.	

4 | ◆ 他者意識をもって、自己紹介のやり取りを2往復以上することがで | 【コ】行動観察・ 本 ワークシート きる。 時 ★Small Talk (対話の続け方を児童とやり取りする中で見せる。) 【慣】行動観察 OActivity 1 他者意識をもって、自己紹介のやり取りをする。(ペア) 【気】行動観察・ ① 記憶に残るような印象的な自己紹介をする。 リフレクション ② 相手が伝えようとしていることを推測し、反応しながら聞く。 カード (相手が話した内容の中心となる語や文を繰り返す。一言感想を言う。) ③ 相手が話した内容に関わる質問をする。 OReflection time 1 (ペアで行った振り返りをし、全体で共有する。) OActivity 2(振り返りを活かし、ペアを変え対話行う。) OReflection time 2 (毎時行う授業終末の振り返りをする。)

10 本時の計画

- (1)目標 他者意識をもって、自己紹介のやり取りを2往復以上することができる。
- (2) 評価規準
 - 【コ】 その場で質問したり、答えたりしようとしている。
 - 【慣】 自己紹介に関する表現や好きなことやできること、誕生日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。
 - 【気】ジェスチャーや表情を大切に伝えたり、推測しながら聞いたり反応したりして、他者 に配慮しながら対話を続けるよさに気付いている。
- (3) 準備物 写真(昨年度交流会), ワークシート, リフレクションカード, picture's cards

(4)展開

学習活動	指導上の留意事項と使用英語例	評価規準・評価方法
1 [Greeting]	〇 毎始業時に、定型として行っている挨拶を	
Hello, everyone.	リーダーが中心となって行うことで,主体性	
Hello,00.	や自信につなげる。	
How are you?		
I'm fine. (great,happy,)	〇 感情や様子を聞き合うやり取りを個別に	
How's the weather?	行うことで,一人一人が自分の感情や様子を	
It's cloudy.	考えながら答えたり,友達の発言に反応した	
What day is it today?	りして,児童同士の Small Talk の体験を積む	
It's Friday.	場とする。	
What's the date today?		
It's July 12th.	○ 今日の天候や日にち・曜日・時刻について、	
What time is it now?	ALT の問いかけに答えることで,既習表現に	
It's one fifty-five.	慣れ親しめるようにする。	
2【Today's goal】を確	〇 昨年度の交流会での思いを想起して行う。	
認する。 他者意識	をもって,自己紹介のやり取りを2往復以上する	ことができる。

3【Small Talk】を通して、 本時の活動をイメージす る。

- 教師と ALT が,順番に,児童と【Small Talk】 を行う。
- 本時で使用する表現を使うことで、本時の 活動の見本となるようにする。
- 児童が応えたことに対し、繰り返したり、 一言感想を述べたりし、教師が反応を示す見 本となる。
- 児童の反応に合わせて、教師がさらに質問 を切り返し、対話の続け方の見本をみせる。

[Small Talk]

T1: Hello, My nickname is Rily. What's your nickname?

C1: My nickname is OO.

T1 : Oh, your nickname is ○○. That's nice, thank you.

ALT: Hello, I like soccer. What sport do you like?

C2: I like \sim .

ALT: You like \sim . Can you play \sim ?

C2: Yes, I can. ALT: Great!

T1: Hello, I like purple. Do you like purple?

C3: Yes, I do.

T1: Really? I'm happy. Do you like eggplant?

C4: What's it?

T1: Eggplant is a purple vegetable. (絵を見せながら)

C4: No, I don't.

T1: What vegetables do you like?

C5: I like tomatos.

T1: You like tomatos. Me, too. I like cherry tomatos, too.

4【Activity 1】ペアで自己 紹介の対話をする。

- 1)Hello.
- ②How are you?
 I'm fine. Me, too.
- ③My name is \sim . My nickname is \sim . It's nice.
- O 前時に、各自が伝えようと決めた自己紹介 の内容について、ペアで伝え合う。
- 対話の開始は、①②の対話の初めの挨拶を 交わすように声をかける。
- この度は、クラスメイトとの対話なので、③の名前は、ニックネームを中心に伝え合うようにする。

【慣】自己紹介に関する表現や好きなことやできること、 誕生日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 (行動観察)

4 l'm from \sim .	○ ④⑤⑥⑦⑧の自己紹介に関する既習表現	
Really?	については,お互いが,話したい,聞きたい,	
\odot I like \sim .	伝えたい内容に即して使用するようにする。	
Do you like ∼?	〇 相手が話した内容の中心となる語や文を	
What OO do you like?	繰り返したり,一言感想を言ったりして,反	
6l can $∼$.	応をするように促す。	
You can play	〇 表情や動作等,他者意識をもち,非言語的	
Can you ∼?	要素を付けて反応するように声かけをする。	
\Im I'm good at \sim .	〇 相手が話した内容について,より詳しく知	
\otimes My birthday is \sim .	るために,内容に関わる質問をするように声	
Oh, it's spring.	かけをする。	
When is your birthday?	○ 対話の終了は,⑨の対話の終わりの挨拶を	
Thank you, nice talking	交わすように声かけをする。	
to you. You, too.	〇 ペアトーク後,ワークシートに対話をして	
See you.	印象に残ったことを書くように促す。	
5 [Reflection time 1]	〇 困ったことや良かった友達のことについ	
できたこと, できなかっ	て全体で共有する。	
たことの振り返りをす	〇 児童の気付きから次への解決につなげる。	
る。	○ 児童の気付きや対話のポイントを板書に	
	残し,児童が活用しやすいようにする。	
6【Activity2】ペアを変え	〇 リフレクションで気付き,シェアしたこと	【コ】その場で質問
て自己紹介・対話をする。	を活かして,違う友達と数回行う。	したり,答えたりし
	〇 ALT や先生(方)とも対話するよう促す。	ようとしている。
	〇 表現が分からず困った時には、お互いに助	(行動観察)
	け合ったり、パラフレーズを大切に何とか伝	
	えようとしたりするように声をかける。	
7 [Reflection time2]	〇 言語面として,表現が使えたかどうか,分	【気】ジェスチャー
対話を続けることについ	かったかどうか等を振り返るように促す。	や表情を大切に伝
てリフレクションする。	〇 内容面として,対話を続けることに関して	えたり、推測しなが
	の気付きを書くように声かけをする。	ら聞いたり反応し
	〇 手立ての必要な児童には、板書を活用する	たりして,他者に配
	ように声かけをする。	慮しながら対話を
	〇 発表をして全体で共有できるようにする。	続けるよさに気付
	○ 休み時間に ALT や先生, 友達と対話したり,	いている。(行動観
	夏休みに外国人に話しかけたりするように	察・ワークシート・
	声かけをする。	リフレクションカ
		ード)

11 板書例

